令和5年度入学生用カリキュラムマップ

【社会福祉学科】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWA1011	人間と社会（HEARTプログラムコア）	1	心理・社会福祉学部での４年間の学びのオリエンテーションとして、心理学や社会福祉学それぞれの学問分野のエッセンスを学ぶことにより、４年間の学びの基盤となる教育の目的や理念を理解し、自らの課題として学修を位置づけることを目的とする。	１．心理・社会福祉学部および心理学科、社会福祉学科での学修の目的・意義とその重要性を理解している。 ２．４年間で学修する学問分野の多様性を理解し、そこで用いられるさまざまな研究方法を理解している。 ３．来るべき人間中心社会としてのSociety5.0の一員として、自らに求められている役割と使命を理解している。 ４．学問的研究と社会実践との橋渡しができる人材として、社会のさまざまな課題の解決に積極的に取り組む必要性を理解している。 ５．社会実践場面における、心理学的視点と社会福祉学的視点の重要性を理解し、学修で得た知識・知恵・スキルをさまざまな課題解決場面で活かす志をもつことができる。	◎														
23USWA1021	初　期　演　習　Ⅰ	1	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。このため、本学の「立学の精神」「教育目標」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、主体性・論理性・実行力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアパスを自ら構築する。	本学学生として自覚すべき「立学の精神」「教育目標」について歴史的理解も含め具体的に学び、その精神・目標に基づき女性として有為な社会人となるために求められる主体性・論理性・実行力を友人や教員を介した双方向的な学びで培う。また学部学科の専門性に対する基本的な理解を深めることで、以後の学習における動機付けを高め、自主的に学びを深めて新たな発見を導きだせる力を身につけることを目標とする。		○		○	○	◎	○	○								
23USWA1031	初期演習Ⅱ（社会福祉）	1	「初期演習Ⅱ（社会福祉）」の目的は、「初期演習Ⅰ」で培った力をさらに発展させ、学院の教育理念、立学の精神に基づいて本学学生としてふさわしい主体性・論理性・実行力を培う。講義の中では、本を読む、文章を書くなど、大学生の基礎的な能力（スタディスキル）を養うとともに、学生および教員との交流を通して人間関係の基礎を身につける。このような講義を実施し、心理・社会福祉学部社会福祉学科の教育目標を達成するように導く。	１．初期演習Ⅰで修得した考え方に基づき、レポート作成やディスカッション、プレゼンテーションの機会を通してスタディスキルの獲得ならびに本学学生としてふさわしい主体性・論理性・実行力の獲得を促進する。 ２．対人援助の基盤となる他者との関係性構築について、友人や教員との交流を通して基礎となる人間関係のあり方について学ぶ。 ３．社会福祉の専門性として求められる機能について、専門性の全体像を理解し、最先端の知識を学び続けるための方法を身につける。	○	◎	○	○	○						○	○				
23USWA1041	心　理　学　概　論	1	１．人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。 ２．人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解する。 ３．日常生活と心の健康との関係について理解する。 ４．心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解できる。	対人援助を支える科学としての心理学について、基本的な考え方と方法論を学ぶ。特に、心理学における人の理解とそのための技法の基礎、人の成長・発達と心理との関係、日常生活と心の健康について、社会福祉実践を踏まえ理解を深化させる。	◎							○							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWA1051	ソーシャルワーク概論A	1	1．社会福祉士および精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。 2．ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。 3．ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。	1．社会福祉士と精神保健福祉士の法的位置づけ、役割、意義および専門性について説明できる。 2．ソーシャルワークの定義を説明できる。 3．ソーシャルワークの構成要素を説明できる。 4．ソーシャルワークの原理と理念を説明できる。 5．ソーシャルワークの形成過程を説明できる。	◎	○													○
23USWA1061	ソーシャルワーク概論B	1	1．社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。 2．ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 3．ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。 4．総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。	1．社会福祉士と精神保健福祉士の役割と意義および専門性について説明できる。 2．ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について説明できる。 3．ソーシャルワークの専門職倫理について説明できる。 4．専門職倫理の概念と倫理的ジレンマについて説明できる。 5．ジェネラリストの視点に基く総合的かつ包括的な援助の意義と内容について説明できる。 6．ジェネラリストの視点に基く多職種連携（チームアプローチ）の意義と内容について説明できる。	○	◎													○
23USWA1073	人体の構造と機能及び疾病	1	1．人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。 2．人の身体構造と心身機能について理解する。 3．健康・疾病の捉え方について理解する。 4．疾病と障害の成り立ちおよび回復過程について理解する。 5．公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。	1．人の成長・発達・老化、心身機能と身体構造、およびさまざまな疾病（悪性腫瘍、生活習慣病、感染症その他）や身体障害・精神障害などの障害について概説できる。 2．心理に関する支援が必要な主な疾病について概説できる。 3．健康の概念と国際生活機能分類（ICF）の基本的な考え方について概説できる。 4．リハビリテーションについて概説できる。 5．身体疾患が疑われる場合に、必要に応じて医師への紹介等の対応ができる。	◎														
23USWA2083	社　会　学	2	1．現代社会の特性を理解する。 2．生活の多様性について理解する。 3．人と社会の関係について理解する。 4．社会問題とその背景について理解する。	1．他者に共感する力および自己の在り方を批判的に省察する力を涵養することができる。 2．社会を多角的にみるための社会学的センスを磨くことができる。	○	◎				○	○			○					
23USWA1091	多文化社会概論	1	「多文化社会」の歴史的、社会的背景について概観し、①政策、②市民活動、③日常生活という三つの側面から、「他者」との「共生」にまつわる課題および展望について学ぶ理解する。	1．日本における多文化社会の歴史的、社会的、制度的な背景と経緯について基本的な事項を理解できる。 2．すべての多様な住民が同じ生活者であるという視点で、メディアからの情報に惑わされることなく、また文献のみに頼らず、社会問題を公正に考察する力をつけることができる。 3．無知からおこる偏見に気づき、社会問題を公正に考察する力をつけ、無知からおこる偏見に気づき、社会問題に関わることの意義を実感し行動に移すことを目指す。		◎								○	○				
23USWA1103	社会貢献とボランティア	1	古くから奉仕と捉えられていたボランティア活動は、阪神・淡路大震災を契機としてNPO法の施行に至った。それから20年以上が経過し、ボランティアという言葉は身近になってきているがことから、「ボランティアという活動を理解するとは何か」を具体的な事例を通して理解する。	個人、団体、企業などさまざまな主体の社会貢献やボランティアに関する基本的な知識を得るとともに、自分自身の関わり方も含めて具体的に考える方法を習得することができる。		◎									○			○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWA1111	英　　語　Ⅰ	1	基本的な文法事項を確認し、「読む」スキルおよび「書く」スキルを中心に身につける。	1．基礎的な文法事項を理解できる。 2．英文の内容を正しく読み取ることができ、日本語に訳すことができる。				◎											
23USWA1121	英　　語　Ⅱ	1	基本的な文法事項を確認し、「読む」スキルおよび「書く」スキルを中心に身につける。	1．基礎的な文法事項を理解できる。 2．英文の内容を正しく読み取ることができ、日本語に訳すことができる。				◎											
23USWA1133	Oral Communication Ⅰ	1	「英文法はある程度わかっていても、いざとなると英語が話せない」という人は多い。本授業では、英語でコミュニケーションを図る際のフォーマットを確認し、実際に「使う」ことを経験しながら、コミュニケーション能力を養う。	1．英語の基礎文法や語彙を理解する。 2．基本的な英語会話ができる。					◎										
23USWA1143	Oral Communication Ⅱ	1	「英文法はある程度わかっていても、いざとなると英語が話せない」という人は多い。本授業では、英語でコミュニケーションを図る際のフォーマットを確認し、実際に「使う」ことを経験しながら、コミュニケーション能力を養う。	1．英語の基礎文法や語彙を理解する。 2．さまざまな場面での基本的な会話ができる。					◎										
23USWB1153	権利擁護と成年後見制度	1	1．法に共通する基礎的な知識を身につけるとともに、権利擁護を支える憲法、民法、行政法の基礎を理解する。 2．権利擁護の意義と支える仕組みについて理解する。 3．権利が侵害されている者や日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。 4．権利擁護活動を実践する過程で直面しうる問題を、法的観点から理解する。 5．ソーシャルワークにおいて必要となる成年後見制度について理解する。	人権の尊重（権利擁護）を中心に、法の基本原理（成年後見制度含む）を学ぶ。またソーシャルワークにおいて必要となる成年後見制度の知識をえて、生活課題を抱えた人々への法的な支援のあり方について学ぶ。また身近に存在する支援場面を法に照らし、ソーシャルワーカーなどの専門職がおこなう相談援助場面での活用法について学ぶ。相談援助職として法（日本国憲法の基本原理、民法（成年後見制度含む）・行政法）を活用する知識を得て説明できるとともに、専門職としての素養を身につけることができる。	◎	○							○						
23USWB2163	児童・家庭福祉論	2	1．児童が権利の主体であることを踏まえ、児童・家庭および妊産婦の生活とそれを取り巻く社会環境について理解する。 2．児童福祉の歴史と児童観の変遷や制度の発展過程について理解する。 3．児童や家庭福祉に係る法制度について理解する。 4．児童や家庭福祉領域における支援の仕組みと方法、社会福祉士の役割について理解する。 5．児童・家庭および妊産婦の生活課題を踏まえて、適切な支援のあり方を理解する。	社会福祉士として、児童・家庭福祉の諸問題に対応できる基礎的な力を涵養する。 1．子どもは援助される対象のみではなく、援助を受けながらも発達に応じた自立的生活を営む権利の主体であることを理解する。 2．子どもの育ちや子育てを巡る様々な生活上の課題を社会的問題として理解できるようにし、児童福祉施策の沿革を学び支援の方法について理解を深める。 3．被虐待児童の社会的養護のあり方について、児童福祉法改正の主要点を押さえながら具体的に理解を深める。										○	◎				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWB2173	障害者福祉論	2	1．障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。 2．障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程について理解する。 3．障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。 4．障害による生活課題を踏まえ、社会福祉士および精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。	1．障害の概念や歴史的変遷、障害者の生活実態を踏まえて現代社会における障害者が抱える生きづらさについて説明できる。 2．障害者を取り巻く虐待、雇用、就学等の実態について法的根拠を踏まえて説明できる。 3．障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解し、各種支援内容について説明できる。 4．障害者福祉を我が事として捉え、必要な支援内容や制度のあり方について考察することができる。	○	○								○	◎				○
23USWB2183	高齢者福祉論	2	1．高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。 2．高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する。 3．高齢者に対する法制度と支援の仕組みついて理解する。 4．高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。	高齢者の生活実態と福祉・介護の需要を学ぶ。特に介護保険法の概要および組織、団体の役割と実際を理解し、介護保険法における専門職の役割とネットワーキングを学ぶ。また高齢者福祉の歴史的な変遷を捉えるべく、恤救規則、救護法、生活保護法、老人福祉法、高齢者虐待防止法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、高齢者の居住の安定確保に関する法律の概要も学ぶ。 1．高齢者の生活実態と福祉・介護の需要を理解し説明することができる。 2．介護保険法の概要および組織、団体の役割と実際を理解し説明することができる。 3．介護保険法における専門職の役割とネットワーキングを理解し説明することができる。 4．老人福祉法、高齢者虐待防止法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、高齢者の居住の安定確保に関する法律の概要を理解し説明することができる。	○	○									◎				
23USWB2193	地域福祉論A	2	1．地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について理解する。 2．地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解する。 3．地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解する。 4．地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的および展開を理解する。 5．包括的支援体制の考え方と、多職種および多機関協働の意義と実際について理解する。 6．地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士および精神保健福祉士の役割を理解する。	地域を基盤としたソーシャルワーク専門職の理論と実践について学び、地域社会における課題を自ら発見し、分析する方法を習得する。	○	○							◎	○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWB2203	地域福祉論B	2	1．地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について理解する。 2．地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解する。 3．地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解する。 4．地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的および展開を理解する。 5．包括的支援体制の考え方と、多職種および多機関協働の意義と実際について理解する。 6．地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士および精神保健福祉士の役割を理解する。	地域を基盤としたソーシャルワーク専門職の理論と実践について学び、具体的地域課題を解決するための展開過程を考え、企画・提案する方法を習得する。	○	○								○	◎					
23USWB2213	社会調査法	2	1．社会福祉調査の意義と目的について理解する。 2．社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について理解する。 3．社会福祉調査における倫理や個人情報保護について理解する。 4．量的調査の方法および調査の結果について適切に理解する。 5．質的調査の方法および調査の結果について適切に理解する。 6．ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解する。	1．社会福祉調査の種類、特徴について説明できる。 2．先行研究レビューのための文献検索方法、各種データベース活用方法について身につける。 3．量的調査について各調査方法および分析方法について説明できる。 4．質的調査について各調査方法および分析方法について説明できる。 5．社会福祉調査に求められる倫理観や個人情報の取り扱いについて説明できる。	○							◎								
23USWB3223	現代社会と福祉A	3	1．社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。 2．社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。 3．社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。 4．福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。 5．福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。 6．福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 7．福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。	1．社会福祉の原理をめぐる思想・哲学・理論をめぐる基礎的知識を身につける。 2．社会福祉の歴史的展開の過程（欧米・日本）について説明できる。 3．現代の社会問題について理解し、社会構造と関連付けて説明できる。 4．福祉政策の視点と生活上のニーズを理解し、福祉政策の過程と結びつけて説明できる。		◎									○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWB3233	現代社会と福祉B	3	1．社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。 2．社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。 3．社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。 4．福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。 5．福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。 6．福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 7．福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。	1．福祉政策の構成要素と過程に関する基礎的知識を身につける。 2．福祉政策の動向と課題、関連施策、包括的支援について説明できる。 3．福祉サービスの供給と利用の過程について理解を深める。 4．福祉政策の国際比較を通して日本の特徴や今後の展望について考察する。		◎								○					
23USWB3243	公的扶助論	3	1．貧困や公的扶助の概念を踏まえ、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境について理解する。 2．貧困の歴史と貧困観の変遷について理解する。 3．貧困に係る法制度と支援の仕組みについて理解する。 4．貧困による生活課題を踏まえ、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。	1．貧困・低所得問題を考えるための概念や理論を説明できる。 2．日本の貧困・低所得・社会的排除の歴史を理解し、現状について説明できる。 3．日本の公的扶助制度、特に生活保護制度と生活困窮者自立支援制度の内容や現状について説明できる。		◎								○					
23USWB3253	福祉サービスの組織と経営	3	1．ソーシャルワークにおいて必要となる、福祉サービスを提供する組織や団体の概要について理解する。 2．社会福祉士に求められる福祉サービスの組織と沿革、経営の視点と方法を理解する。 3．福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論、労働者の権利等について理解する。 4．福祉サービスに求められる福祉人材マネジメントについて理解する。	福祉サービス提供組織の経営について理解し、さらに管理運営方法の実際を学ぶ。	○	◎								○					
23USWB3263	更生保護制度	3	1．刑事司法の近年の動向と制度の仕組みを理解する。 2．刑事司法における社会福祉士および精神保健福祉士の役割について理解する。 3．刑事司法の制度に関わる関係機関等の役割について理解する。	1．更生保護制度全般への基本的かつ実際的な理解を深める。 2．関連の刑事司法・少年司法分野について説明できる。	○	◎								○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWB3273	社会保障論A	3	1．社会保障の概念や対象およびその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。 2．現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。 3．社会保障制度の財政について理解する。 4．公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 5．社会保障制度の体系と概要について理解する。 6．諸外国における社会保障制度の概要について理解する。	1．社会保障の歴史を理解し、根底にある理念や思想を説明できる。 2．現代社会における社会保障の役割や意義を説明できる。 3．日本の社会保障各制度の基本的構造を説明できる。		◎								○					
23USWB3283	社会保障論B	3	1．社会保障の概念や対象およびその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。 2．現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。 3．社会保障制度の財政について理解する。 4．公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 5．社会保障制度の体系と概要について理解する。 6．諸外国における社会保障制度の概要について理解する。	1．社会保障を分析する多様な視点・方法を修得する。 2．制度の形成から効果まで社会保障の成り立ちを幅広い視点で捉えることができる。 3．最新の議論もふまえ、社会保障の今後について自身の考えを述べられる。		◎	○												
23USWB3293	保健医療サービス	3	1．ソーシャルワーク実践において必要となる保健医療の動向を理解する。 2．保健医療に係る政策、制度、サービスについて理解する。 3．保健医療領域における社会福祉士の役割と、連携や協働について理解する。 4．保健医療の課題を持つ人に対する、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。	1．今日における保健医療サービスの現状と課題を理解し、主要なものを説明できる。 2．医療ソーシャルワーカーが保健医療分野での役割と存在する意義を理解し、説明できる。 3．医療保険制度の概要について説明できる。 4．保健医療サービスにおける多職種協働について説明できる。	○	◎													
23USWB2303	ソーシャルワーク論ⅠA	2	1．人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。 2．ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。 3．ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。 4．コミュニティワークの概念とその展開について理解する。 5．ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。	1．システム理論、生態学理論、バイオ・サイコ・ソーシャルモデルについて説明できる。 2．ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて説明できる。 3．ソーシャルワークの展開過程について説明できる。 4．ソーシャルワークの面接や記録の意義と目的および方法について説明できる。 5．コミュニティワークの意義や展開について説明できる。 6．ケアマネジメントの意義と方法について説明できる。 7．スーパービジョンやコンサルテーションの意義、目的、方法について説明できる。	◎	○											○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWB2313	ソーシャルワーク論ⅠB	2	1．人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。 2．ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。 3．ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。 4．コミュニティワークの概念とその展開について理解する。 5．ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。	1．グループを活用した支援の意義と目的および展開過程について説明できる。 2．ソーシャルワークの実践モデルとアプローチについて説明できる。 3．ソーシャルワークの実践モデルとアプローチを応用できる。	○	◎											○		
23USWB3323	ソーシャルワーク論ⅡA	3	1．社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。 2．支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解する。 3．社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解する。 4．個別の事例の具体的な解決策および事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を理解する。	1．エンパワメントを志向した相談支援の展開方法やストレングス視座の活用方法について身につける。 2．集団を活用した相談支援の展開方法やグループダイナミクスの活用方法について身につける。 3．様々な実践モデルやアプローチについて、ケースの特徴に応じてどのように選択、活用していくべきか説明できる。			◎			○					○				
23USWB2333	ソーシャルワーク論ⅡB	3	1．社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。 2．支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解する。 3．社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解する。 4．個別の事例の具体的な解決策および事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を理解する。	1．地域の福祉課題や地域住民のニーズをアセスメントする方法を身につける。 2．不足する社会資源や制度的課題について各種統計データなどを活用して把握する方法を理解する。 3．不足する社会資源の開発やソーシャルアクションの方法を身につける。					◎	○				○			○		
23USWB1343	ソーシャルワーク演習ⅠA	1	1．ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を踏まえ、社会福祉士および精神保健福祉士として求められる基礎的な能力を涵養する。 2．ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解する。 3．ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養う。 4．ソーシャルワークの展開過程において用いられる、知識と技術を実践的に理解する。	1．自己覚知の必要性と方法を説明できる。 2．ソーシャルワークに必要な基本的なコミュニケーション技法と面接技法を説明できる。 3．ソーシャルワークに基本的なコミュニケーション技法と面接技法を実践できる。 4．ソーシャルワーク実践に必要な価値基盤と倫理を説明できる。			◎		○										

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWB1353	ソーシャルワーク演習ⅠB	1	1．ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を習得する。 2．社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。 3．支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解する。 4．地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。 5．ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。	1．それぞれの事例について必要な理論と技術を具現化できる。 2．それぞれの事例に必要な知識と技術を習得する。			○	◎	○										
23USWB2363	ソーシャルワーク演習ⅡA	2	1．ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を習得する。 2．社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。 3．支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解する。 4．地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。 5．ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。 6．実習Ⅰを通じて体験した事例について、事例検討や事例研究を実際に行い、今後の実習Ⅱに向けてその意義や方法を具体的に理解する。 7．実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。	1．ソーシャルワークに必要な知識と技術をロールプレイを通じて実践できる。 2．事例検討においてソーシャルワークの価値規範や倫理的な判断を実践できる。 3．実習Ⅰでの体験もふまえ、支援を必要とする人の包括的支援について分野横断的な視点から考えることができる。 4．今後の実習Ⅱに向けて、ソーシャルワークの対象と展開過程についてディスカッションを通して理解を深める。	○				○	◎				○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWB2373	ソーシャルワーク演習ⅡB	2	1．ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を習得する。 2．社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。 3．支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解する。 4．地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。 5．ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。 6．実習Ⅰおよび実習Ⅱを通じて体験した事例について、事例検討や事例研究を実際に行い、その意義や方法を具体的に理解する。 7．実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。	1．コミュニティワーク実践に必要な知識と技術を習得し、具現化できる。 2．地域福祉における要支援者を中心とした分野横断的な包括的支援について実践的に理解し、説明できる。 3．地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解し、説明できる。 4．実習Ⅰおよび実習Ⅱを通じて体験もふまえ、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解し、説明できる。	○		○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○		
23USWB4383	ソーシャルワーク演習Ⅲ	4	1．ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を習得する。 2．社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。 3．支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解する。 4．地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。 5．ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。 6．実習を通じて体験した事例について、事例検討や事例研究を実際に行い、その意義や方法を具体的に理解する。 7．実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。	1．ソーシャルワークに必要な知識や技術を事例検討において応用できる。 2．事例検討においてソーシャルワーカーとしての倫理的判断ができる。 3．事例検討において総合的かつ包括的に支援を考えることができる。 4．ミクロ・メゾ・マクロのレベルにおけるソーシャルワークについて、「包括的な相談支援体制の構築と「住民主体の地域課題解決体制」の構築という課題に関連づけて把握し、実践に向けて必要な力量について説明できる。	○		○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWB2393	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	1．ソーシャルワーク実習の意義について理解する。 2．社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。 3．ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。 4．実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する。	1．ソーシャルワーク実習の意義および目的を説明できる。 2．利用者、実習現場、専門職、関連制度等に関する基本的理解をする。 3．実習生としての自覚をもち、実習の事前学習に積極的にのぞむことができる。 4．実習配属先についての学習課題を設定・整理することができる。 5．実習の事後学習として実習体験を理論的・体系的に整理することができる。	○			○				○			◎				
23USWB3403	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3	1．ソーシャルワーク実習の意義について理解する。 2．社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。 3．ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。 4．実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する。	1．配属先についての事前学習を主体的におこない、学習課題を整理したうえで、実習計画書を作成することができる。 2．実習計画書に基づいた現場実習を円滑におこない、実習前・実習中・実習後に必要な指導を受けることができる。 3．現場実習を通して、専門職に必要とされる基本的価値・倫理、知識、技術について理解し、実習体験の成果と課題を整理・共有し、報告することができる。 4．実習を通して具体的体験を通して、理論と実践を結びつけながら、ソーシャルワークの専門性について考察することができる。												◎			
23USWB2413	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	1．ソーシャルワークの実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うため の実践能力を養う。 2．支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）について把握する。 3．生活上の課題（ニーズ）に対応するため、支援を必要とする人の内的資源やフォーマル・インフォーマルな社会資源を活用した支援計画の作成、実施およびその評価を体験的に行う。 4．施設・機関等が地域社会の中で果たす役割についての概要を実習を通じて理解する。 5．総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方およびその概要を実践的に理解する。	1．施設・機関の機能および社会福祉施策・制度や利用者の抱える生活上の諸問題を総合的に理解する。 2．利用者およびその家族、関係者等を理解し、関係形成をはかりながら、利用者のニーズを把握・分析する基本的能力を身につける。 3．観察や体験を通じて、ソーシャルワークに関する価値・知識・技術を理解し、施設・機関において必要とされる生活支援や援助・介助の実際を学ぶ。 ソーシャルワーク実習Ⅰを通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際的に理解し実践的な技術等を学ぶ。その際、社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。また関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を学ぶ。	○										○	○	◎		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWB3423	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3	1．ソーシャルワークの実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うため の実践能力を養う。 2．支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）について把握する。 3．生活上の課題（ニーズ）に対応するため、支援を必要とする人の内的資源やフォーマル・インフォーマルな社会資源を活用した支援計画の作成、実施およびその評価を行う。 4．施設・機関等が地域社会の中で果たす役割について、実際の状況をふまえて実践的に理解する。 5．総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に理解する。	1．施設・機関の機能および社会福祉施策・制度や利用者の抱える生活上の諸問題を総合的に理解する。 2．利用者およびその家族、関係者等を理解し、関係形成をはかりながら、利用者のニーズを把握・分析する基本的能力を身につける。 3．観察や体験を通じて、ソーシャルワークに関する価値・知識・技術を理解し、施設・機関において必要とされる生活支援や援助・介助の実際を学ぶ。 4．施設や機関内外の社会福祉専門職や関連分野の専門職の職務内容を理解し、効果的な連携のあり方について学ぶ。 5．自らの実習体験を客観的、具体的に記録化し、現状と課題について考察することができる。 6．地域社会における施設・機関の位置づけ、機能と役割、関係機関との連絡・調整について理解する。 7．事例検討を通して各種記録の意義について学び、一連の専門的支援過程の方法を具体的に理解する。 8．ケースカンファレンスや各種会議を体験し、事例研究とチームアプローチの重要性を学ぶ。	○										○	○	○	◎	
23USWB2433	医療ソーシャルワーク	2	1．ソーシャルワークの視点とスキルは活躍する場によらず普遍的である。その一方で、的確な援助のためには分野固有の価値やシステムを意識せねばならないことを知る。 2．今日、多くの事例が保健医療と関わりを有する実態を踏まえて、医療ソーシャルワーカーの倫理、実践、職種間連携のあり方への理解を深める。	1．医療ソーシャルワークの基礎知識や援助技術について学ぶ。健康かつ文化的な生活を維持・増進させるための医療福祉サービスの広がりを具体的に想起できることが目標である。 2．社会福祉の理論や実践が、現代の医療現場における困難や葛藤を緩和できる可能性について認識を新たにする。	◎									○						
23USWB3443	虐待とソーシャルワーク	3	「虐待」が社会的病理であることに理解を深める。「虐待」の心理的・社会的背景を理解し、人権擁護の視点を養う。児童虐待を加害する親と被害を受ける子どもに二分化せず、また家族病理といった診断モデルで認識するのではなく、家族の生活の中で発生する問題として家族の社会生活や社会の側からの家族への働きかけといった「生活モデル」で認識できる力を醸成する。	1．「児童虐待」を中心にその病理の背景と社会的対応について理解できるようにする。 2．子ども虐待の対応件数が増加する背景を理解し、現代の虐待の特徴、虐待の定義や規定関する課題を学ぶ。 3．児童虐待の防止と予防に関する法律や制度、司法関与の動向について理解を深め、児童相談所や要保護児童対策地域協議会の役割、相談体制の課題について理解する。 4．虐待を受けた子どもの社会的養護の在り方について児童福祉法改正を踏まえて理解できるようにする。 5．児童虐待対応におけるソーシャルワークの専門性を吟味する力を身につける。		◎							○	○	○				
23USWB3453	スーパービジョン論	3	スーパービジョンとは対人援助の場で、経験のある職員（スーパーバイザー）から経験の浅い職員（スーパーバイジ―）に行われる、専門職を養成するための教育と支援の方法である。今日の社会福祉実践は専門性が細分化されつつあり、ネットワークやチーム力といった支援者間の連携が求められる。利用者やその家族の権利擁護の意識も高まるが、対応にはより高い専門性が求められるようになった。ソーシャルワーカーを目指す人間としてスーパービジョンが必要である認識を高めることが本講義の目的となる。	1．今日の社会福祉実践におけるスーパービジョンの意義を理解する。 2．対人援助職者のストレスとストレス反応について理解を深める。 3．スーパービジョン関係について理解を深める。 4．スーパービジョンの目的と意義、方法（管理、評価、教育、支援）、実践上の課題等について学ぶ。 5．スーパーバイジ―の専門性の向上、自身の人間的な成長のあり方について理解する。						◎	○		○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWB4463	スクールソーシャルワーク	4	多くの子どもたちは様々な問題に直面している。それらの問題に対し、学校を基盤に福祉的なアプローチで子どもたちの成長発達を促す環境を整えることがスクールソーシャルワークである。本授業では、日本の子どもたちが抱える問題について知り、それらをスクールソーシャルワーカーがどのような視点で捉え、どのように介入し、改善・解決を試みるのかについての理解を深める。	1．学校現場にソーシャルワーカーを配置する意義と目的を説明できる。 2．スクールソーシャルワークの理念を説明できる。 3．近年の子どもたちを取り巻く環境や問題・課題について説明できる。 4．スクールソーシャルワーク実践に関連する実践理論・モデルおよび支援方法を説明できる。 5．スクールソーシャルワークのミクロ・メゾ・マクロレベルの実践について説明できる。	○	◎	○				○	○		○	○				
23USWB4473	社会福祉事業史	4	社会福祉の歴史的展開を紐解くことにより、現代の社会福祉の意義と社会に果たす役割について考察することを目的とする。	社会福祉の歴史的な変遷を理解するとともに、現代における制度の意義も合わせて考察することできるようになる。また社会福祉士の国家試験に対応するレベルまで到達し、実践現場において社会福祉の歴史を踏まえた対応ができるようになる。	◎	○							○						
23USWB4483	社会福祉特講	4	社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験に合格する学力を修得する。	1．相談援助の基盤や理論が説明できる。 2．社会調査の方法や留意点について説明できる。 3．人体の構造・機能・疾病について説明できる。 4．心理学理論や心理的支援について説明できる。 5．社会理論と社会システムについて説明できる。 6．更生保護について説明できる。 7．地域福祉の理論と方法について説明できる。 8．高齢者に対する支援と介護保険制度について説明できる。	◎														
23USWB3491	専門演習ＩＡ	3	卒業論文に繋がる科目である。少人数の演習形式の授業を通して、社会福祉および多文化共生等への深い理解と、研究を進めるために必要な技能、ディスカッションの力、課題を探究する力を修得する。	1．各自で関心のある問題をテーマとして取り上げる力を身につける。 2．研究テーマに関する事象、資料等を集約する力を身につける。 3．資料等を読み、論理的な思考を身につける。											◎				
23USWB3501	専門演習ＩＢ	3	卒業論文に繋がる科目である。少人数の演習形式の授業を通して、社会福祉および多文化共生等への深い理解と、研究を進めるために必要な技能、ディスカッションの力、課題を探究する力を修得する。論理的思考に基づきプレゼンテーションを行う。	1．ディスカッションを通して、各自の研究テーマを探究する。 2．研究テーマに関してデータを収集する技能を身につける。 3．プレゼンテーション技能を身につける。。												◎			
23USWB4511	専門演習ＩＩＡ	4	卒業論文執筆に向けて、その研究内容を深めることを目的とする。社会事象、社会的問題の抽出と焦点化、仮説の設定、仮説の検証方法等の検討を行い、問題を理解し検証する力の獲得を目指す	1．研究テーマに関して、収集したデータを分析し、結果から考察する力を身につける。 2．導き出された考察から、各自のテーマにを論理的にまとめる力を養う。 3．社会問題解決或いは取り組みを推進するための提言等を行う力を獲得する。													◎		
23USWB4521	専門演習ＩＩＢ	4	卒業論文執筆に向けて、その研究内容を深めることを目的とする。。社会事象、社会的問題の抽出と焦点化、仮説の設定、仮説の検証方法等の検討を行い、問題を理解し検証する力の獲得を目指す	1．各自の問題意識を論文としてまとめ、プレゼンテーションが行えるようになる。 2．論文作成を通して、新たな課題を発見し、持続的な研究意識の獲得を目指す。														◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWB4531	卒　業　論　文	4	社会福祉および多文化共生の学びを基盤にし、各自の問題意識から研究テーマの明確化を行った上で研究プロセスを主体的に学習し、研究に対する基礎的な態度を身につける。げとして、卒業論文を執筆する。	1．研究の必要性や意義を踏まえ、解決すべき社会的問題や現象などの研究テーマを明らかにすることができる。 2．研究テーマから研究目的を明確にし、目的に合致する研究計画書の作成ができる。 3．研究計画書に基づいて資料データ収集および分析ができる。 4．研究によって得られた結果・考察に基づき、論文にまとめ、プレゼンテーションを行うことができる。															◎
23USWC1543	精　神　保　健　A	1	1．精神の健康についての基本的な考え方と、精神保健学の役割について理解する。 2．現代社会における精神保健の諸課題について理解する。	1．現代の精神保健分野の動向と課題の概要を説明できる。 2．精神保健の基本的な考え方を理解し、説明できる。 3．生活環境ごとの精神保健の課題と、それらへのアプローチ、精神保健福祉士の役割について説明できる。	◎	○								○	○				
23USWC1553	精　神　保　健　B	1	1．精神保健学Aに引き続き、現代社会における精神保健の諸課題について理解する。 2．精神保健の実際、および精神保健福祉士の役割について理解する。 3．精神保健を維持、増進するために機能している、専門機関や関係職種の役割と連携について理解する。 4．国際連合の精神保健活動や、他の国々における精神保健の現状と対策について理解する。	1．精神保健から見た、現代社会の課題とそれらへのアプローチについて説明できる。 2．精神保健に関する対策とそれに応じた精神保健福祉士の役割について説明できる。 3．地域精神保健に関する諸活動について説明できる。 4．精神保健に関する専門職種（保健師等）と関係機関、諸団体等の役割、およびそれらとの連携の必要性を説明できる。 5．国際連合や諸外国の精神保健活動の現状と対策について説明できる。	○	◎								○	○				
23USWC1563	精神保健福祉の原理A	1	対人援助職が行う相談援助の対象と、相談援助の概要について理解し、精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助の考え方について理解することを目的とする。	1．「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み（理念・視点・関係性）について理解する。 2．メンタルヘルスの課題をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。 3．近年の精神保健福祉の動向を踏まえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する。	◎							○							
23USWC1573	精神保健福祉の原理B	1	対人援助職が行う相談援助の対象と、相談援助の概要について理解し、精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助の考え方について理解することを目的とする。	1．「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。 2．精神障害者へのかかわりについて、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く。 3．現在の精神保健福祉士の基本的枠組み（理念・視点・関係性）と倫理綱領に基づく職責について理解する。 4．精神保健福祉士を規定する法律と倫理綱領を把握し、求められる機能や役割を理解する。		◎						○							
23USWC2583	精神障害リハビリテーション論	2	1．精神障害リハビリテーションの概念とプロセスおよび精神保健福祉士の役割について理解し、援助場面で活用できる。 2．精神障害リハビリテーションプログラムの知識を援助場面で活用できる。 3．精神障害リハビリテーションの実施機関と精神障害リハビリテーションプログラムの関連について理解し、援助場面で活用できる。	1．精神障害リハビリテーションの概念とプロセスおよび精神保健福祉士の役割について説明できる。 2．精神障害リハビリテーションプログラムの知識をどのような援助場面で活用できるか説明できる。 3．精神障害リハビリテーションの実施機関と精神障害リハビリテーションプログラムの関連について説明できる。	○	◎						○			○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWC2593	精神保健福祉制度論	2	精神障害者の相談援助活動と法との関わりについて理解する。	下記の項目について学ぶことで、制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。 （1）精神保健福祉法、医療観察法等の医療に関する制度 （2）生活支援（相談支援、就労支援、居住支援）に関する制度 （3）生活保護制度や生活困窮者自立支援制度等の経済的支援に関する制度	◎							○							
23USWC2603	精神疾患とその治療A	2	精神疾患の分類を把握するとともに、主な疾患の症状、経過、治療方法などについて理解する。また精神医療と人権擁護の歴史を学ぶとともに、精神保健福祉法における精神科病院の入院形態や医療観察法について理解し、その中での精神保健福祉士の役割と法制度の課題を理解する。	代表的な精神疾患（統合失調症、気分障害、ストレス関連障害、認知症など）の、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援について説明できる。	◎	○								○					
23USWC2613	精神疾患とその治療B	2	精神疾患の分類を把握するとともに、主な疾患の症状、経過、治療方法などについて理解する。また精神科病院等においてチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割を理解する。早期介入、再発予防や地域生活の支援等における地域の多職種連携・多機関連携における精神保健福祉士の役割について理解する。	代表的な精神疾患（発達障害など）の、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援について説明できる。向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化についても学び、どのような場合に精神科医療機関への受診が必要かも説明できる。同時に精神科医療機関の治療構造および専門病棟、について概説できる。精神医療と福祉の連携と精神保健福祉士の役割についても学び、とりわけ精神科病院等においてチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割を理解する。くわえて早期介入、再発予防や地域生活の支援等における地域の多職種連携・多機関連携における精神保健福祉士の役割についても説明できる。	○	◎								○					
23USWC2623	ソーシャルワークの理論と方法（専門）A	2	1．精神障害および精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を理解する。 2．精神障害および精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を理解する。 3．個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえて理解する。	1．精神障害および精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの支援過程を理解する。 2．精神保健福祉分野における家族支援の展開過程を理解する。 3．精神保健福祉分野でのミクロ、メゾ、マクロソーシャルワークの体系的実践について説明できる。			◎	○						○					
23USWC2633	ソーシャルワークの理論と方法（専門）B	2	1．精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。 2．精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。 3．精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解する。	下記の項目について実践的に理解することができる。 （1）多職種連携・多機関連携（チームアプローチ） （2）ソーシャルアドミニストレーションの展開方法 （3）コミュニティワーク （4）関連分野における精神保健福祉士の実践展開		○	○	◎		○									
23USWC3643	ソーシャルワーク演習（専門）A	3	精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人の状況や困難、また希望を知り、とりまく状況や環境を含めて理解してソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性（知識、技術、価値）の基礎を獲得する。	以下の精神保健福祉の課題について、事例等を用いて習得する。 ・社会的排除、社会的孤立・受診・受療、課題発見・退院支援、地域移行支援・地域生活支援・自殺対策・ひきこもり支援・児童虐待への対応・アルコール依存、薬物依存、ギャンブル依存等の予防や回復・家族支援・就労（雇用）支援・職場ストレス、リワーク支援・貧困、低所得、ホームレス支援・災害被災者、犯罪被害者支援、触法精神障害者支援・その他			○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWC4653	ソーシャルワーク演習（専門）B	4	精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。	以下の精神保健福祉の法制度、サービスについて、事例等を用いて習得する。 ・精神保健および精神障害者福祉に関する法律・障害者基本法、障害者総合支援法・障害者差別解消法、障害者虐待防止法・医療観察法・生活保護制度、障害年金制度、各種手当・障害者雇用促進法、労働安全衛生法・介護保険法、老人福祉法、高齢者虐待防止法・児童福祉法、児童虐待防止法・アルコール健康障害対策基本法・刑の一部執行猶予制度、覚せい剤取締法等・自殺防止対策基本法・当事者活動（自助グループ、ピアサポート）・その他（居住支援制度、生活困窮者自立支援制度、成年後見制度等）			○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○			
23USWC4663	ソーシャルワーク演習（専門）C	4	精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための関係機関や職種の役割を理解し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担えるようになる。また、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法をイメージできるようになる。	以下の精神保健福祉の援助技術について、事例等を用いて習得する。 ・ソーシャルワークの過程を通した援助（ケースの発見、インテーク、アセスメント、プランニング、支援の実施、モニタリング、支援の終結と事後評価、アフターケア）・個別面接・グループワークの展開・ケア会議や関係者会議のコーディネートとマネジメント・リハビリテーションプログラムの実施（行動療法、作業療法、回復支援プログラム）・アウトリーチ、コミュニティソーシャルワークの展開・社会福祉調査の実施、計画策定、評価、資源創出、政策提言・普及啓発活動、人材育成（住民への啓発、ボランティア養成、実習生指導）・記録（個別支援記録、公文書作成、業務（日誌・月報等）の記録、スーパービジョンのためのレポート作成等			○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○			
23USWC3673	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3	ソーシャルワーク（精神保健福祉士）実習の意義について理解し、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。	下記の項目について理解し説明できる。 ソーシャルワーク実習とソーシャルワーク実習指導における個別指導および集団指導の意義、精神保健医療福祉の現状（利用者理解を含む。）に関する基本的な理解、実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的な理解、精神疾患や精神障害のある当事者の語りに触れる体験	○			○	○			○	◎			○	○		
23USWC4683	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	4	ソーシャルワーク（精神保健福祉士）実習に係る個別指導および集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際的に理解し実践的な技術等を体得する。	下記の項目について理解し、取り組める。 実習先で必要とされる精神保健福祉士としてのソーシャルワークに係る専門的知識と技術に関する理解、精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務に関する理解、実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解、「実習記録」への記録内容および記録方法に関する理解、実習計画の作成・実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成、実習報告会	○			○	○			○		◎		○	○		
23USWC3693	ソーシャルワーク実習Ⅲ	3	地域に生活する精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握し、精神保健福祉援助ならびに障害者等の相談援助に係る専門的知識と技術について具体的かつ実際的に理解し実践的な技術等を体得する。精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。	地域の障害福祉サービス事業を行う施設等の実習を通して、下記の視点を学ぶ。 利用者やその関係者等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成、支援計画の作成、利用者やその関係者との支援関係の形成、利用者やその関係者への権利擁護および支援とその評価、精神医療・保健・福祉に係る多職種連携の実際、精神保健福祉士としての職業倫理と法的義務への理解、施設・機関・事業者・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解、施設・機関・事業者・団体等の経営やサービスの管理運営の実際、地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ・ネットワーキング・社会資源の活用・調整・開発に関する理解												◎				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWC4703	ソーシャルワーク実習Ⅳ	4	精神科医療を利用する精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握し、精神保健福祉援助ならびに障害者等の相談援助に係る専門的知識と技術について具体的かつ実際的に理解し実践的な技術等を体得する。 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。	1．精神科病院において実習を行う学生は、下記の項目について実践できる。 入院時または急性期の患者およびその家族への相談援助、退院または地域移行・地域支援に向けた患者およびその家族への相談援助、多職種や病院外の関係機関との連携を通じた援助 2．精神科診療所において実習を行う学生は、下記の項目について実践できる。 治療中の患者およびその家族への相談援助、日常生活や社会生活上の問題に関する患者およびその家族への相談援助、地域の精神科病院や関係機関との連携を通じた援助												◎				
23USWD2713	多文化社会実践論	2	様々な文化的背景を持つ人々が周囲に遠慮したり、萎縮したりせず生活できるようになるために、どのような取り組みが行われているかを理解することができる。	多文化社会の実現に向けた具体的な取り組みについて知り、そのうえで一人ひとりに求められている姿勢を考えて行動できる。			◎								○				
23USWD4723	多文化社会のコミュニケーション	4	多様な住民で構成される多文化社会において、「多文化共生」という言葉の広がりとともに、多言語・多文化にむけた取り組みが、さまざまな組織や機関の連携によって展開されていることを理解する。	地域社会で政策およびNGO・NPOなど市民が自ら参画する形の活動における実践的なコミュニケーション方法を身につけることができる。			◎									○			
23USWD2733	多文化社会のソーシャルワークⅠ	2	近年、外国人の人口が増加しつつある日本社会において、多様な文化に考慮したソーシャルワークのあり方について理解する。	日本社会が多文化化しつつあることを認識し、どのような課題があるのかを示し、求められているソーシャルワークのあり方について理解できる。		○				◎									
23USWD3743	多文化社会のソーシャルワークⅡ	3	外国人人口が多い兵庫県神戸市でのソーシャルワークの取り組みに着目し、多文化ソーシャルワークが豊かな社会づくりの一助を担っていることを理解する。	多文化社会における課題を発見し、課題解決に向けた具体的なソーシャルワークについて提案することができる。			○				◎								
23USWD1751	NGO・NPO 概　論	1	授業では、主に日本について取り扱うが、海外におけるNGO・NPOに関する事柄について取り扱うこともある。また、具体的な事例として、私たちにとって身近な兵庫県に拠点を置くNGO・NPOの活動内容について理解する。	具体的な事例をとおして、NGO・NPOに関する基本的な事柄に関する下記項目について理解できる。 1．NGO・NPOという考え方について 2．NGO・NPOの歴史、仕組み、目指している社会について 3．NPO法の変遷について		◎								○					
23USWD4763	NGO・NPOマネジメント演習	4	多くのNGO・NPOでは、安定的な経済的基盤を維持することが大きな課題であることから、NGO・NPOの持続可能性についてマネジメントの観点から学ぶことである理解する。	NGO・NPOの事例を取り上げ、成果と課題を見ることにより、持続可能なNGO・NPOのマネジメントには何が必要かについて理解できる。							○							◎	
23USWD2771	ソーシャルビジネス概論	2	ソーシャルビジネスに関する基本的な事柄として、ソーシャルビジネスという考え方、仕組み、CSR（企業の社会的責任）やCSV（共通価値の創造）について理解する。	主に日本について取り扱うが、海外におけるソーシャルビジネスの事例をとおして、ソーシャルビジネスとは何かということが理解できる。		○									◎				
23USWD3783	ソーシャルビジネス・マネジメント	3	地域社会において誰もが排除されることなくさまざまなサービスを公平に受けられるよう、社会の不具合を改善するためのソーシャルビジネスのマネジメントを具体的に考え、社会参画の意義を理解する。	ソーシャルビジネスの手法を考え、実際に地域社会の課題に触れ、実感を持って社会参画ができる。														◎	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWD4793	ソーシャルビジネス計画演習	4	社会福祉の知識を活用する手法としてのソーシャルビジネスを展開するために必要な計画を作成する手法を身につける。	ソーシャルビジネスを展開するために必要な計画を作成する手法を身につけ、実際に計画を立てることができる。			○											○	◎
23USWD2803	フェアトレード概論	2	社会的不平等を是正する手法のひとつであるフェアトレードという考え方、歴史、仕組み、目指している社会づくりについて理解する。	フェアトレードと商業貿易の違いについて知り、社会的不平等を是正するフェアトレードの可能性について理解できる。		○									◎				
23USWD3813	共生の社会心理	3	共生社会の成立にかかわる心理的契機について、民族意識あるいは自己のアイデンティティへのこだわりをいかに克服し、「地球人意識」について理解する。	人間心理の面から共生社会の課題のひとつである他者への攻撃性が生み出される心理的契機の解説を踏まえ、寛容による対立の克服など、紛争予防に向けた心理学の応用について理解できる。							◎				○				
23USWD3823	コミュニティメディア論	3	インターネット上のSNS等も含む多様な発信ツールを、コミュニティメディアとして活用し、グローバルな人間関係を構築するための理論と技術を習得する。	コミュニティメディアの多文化共生社会を目指す活動における有効性や可能性について議論できる。さらに、インターネット上のSNSに関して問題状況が生じる現状を踏まえたうえで、グローバルな人間関係を構築するためのツールとしてSNSを運用する理論と技術を習得できる。										○	◎		○		
23USWD3833	コミュニティ防災論	3	災害予防に重点をおく流れの中で、地域社会や政府にとって限られた資源を有効に配分し、より人道的見地や内発的な開発努力の観点から、減災／地域開発の効果を発揮させることを主眼とした防災について理解する。	緊急対応、事後対応を中心とした政府のトップダウンによる従来の防災にとどまらない、近隣地域社会の共助を中心にコミュニティの災害対応能力の重要性について理解できる。		◎								○			○		
23USWD3843	ジェンダーと開発	3	この授業の目的は、「女性」を取り巻く課題、そしてそれを解決するための「開発」という考え方を理解する。	女性が置かれている社会的状況を変えるために、国際機関や政府、そしてNGO・NPOがどのような取り組みを行っているかを知り、ジェンダーという考え方について理解できる。		◎					○								
23USWD1851	フィールド調査の基礎	1	フィールドワークを行う際に、知って身につけておくべき基礎的な事柄について理解する。	「人を調査する」ということによって生じる「問題」について理解し、調査対象者に配慮したフィールドークの方法を考えることができる。						○		◎							
23USWD1861	フィールドワーク演習Ⅰ	1	社会的課題を解決する方法のひとつソーシャルビジネスに関する実践方法を習得する。	日本が抱える社会的課題に対して、現在どのような取り組みがなされているのかを調べて報告し、社会的課題を解決する方法のひとつとしてのソーシャルビジネスの可能性について理解する。			◎				○								
23USWD2871	フィールドワーク演習Ⅱ	2	ソーシャルビジネスの立ち上げから運営までのプロセスについて実践的に理解する。	ソーシャルビジネス立ち上げにはどのようなプロセスが必要なのかについて理解したうえで、ソーシャルビジネスの立ち上げに関する計画案を作成し報告できる。		○		◎											
23USWD3883	フィールドワーク実習指導I	3	フィールドワーク実習に際して知っておくべき以下の事柄について理解する。 ①NPOの現場に参与するということは、困難な課題に対してスピーディーかつ適切に対処が行われている場所に身を置くということ。 ②NPOの現場では、主体的な姿勢が期待されているということ。 ③自分で課題を発見し、その解決のために何をすればよいのかを順序立てて考える力が求められるということ。	社会課題に対する解決方法について、想像／創造力をを基盤とする課題発見力および解決力を身につける方法を具体的に示すことができる。								○			◎		○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWD4893	フィールドワーク実習指導Ⅱ	4	実習先の情報を共有しながら、各自の関心テーマに合った実習計画の書き方を理解する。	フィールドワーク実習に備え、適切な実習計画の書き方を書くことができる。そのうえで、フィールドワークでは予測不可能な事が次々と起こり得るが、事前の備えを十分にしておけば適切に対処できる柔軟性を身につけることができる。			○									◎			
23USWD4903	フィールドワーク実習指導Ⅲ	4	この授業の目的は、実際にNPOの現場で起こり得ることを知ることにより、実習先での心構えについて学ぶ理解する。そのうえで、実習先で自分に起こり得る出来事に対し、特に倫理的ジレンマなどについて、自分で考え、柔軟に対応できる具体的な対応方法を身につける。	実際に実習先に赴き、フィールドワークを体験することにより、フィールドワーク実習に臨む際に求められる心構えを習得することができる。							○							◎	
23USWD4913	フィールドワーク実習	4	ソーシャルビジネスにおける事業性とミッションのバランスの重要性について理解する。	社会的課題の解決に自分がどのように参与できるかを明確にし、NPOをはじめとする社会活動団体での実習を通して、ソーシャルビジネスのマネジメントの手法を実践できる。					○									○	◎
23USWE1923	知覚・認知心理学	1	実証事例を通じて、人の感覚・知覚・認知のしくみと機能的特徴についての基礎的な知識を身につけることを目的とする。さらに、人の感覚・知覚等のメカニズムとその障害や人の認知・思考等のメカニズムとその障害に関する理解を深める。	1．人の感覚・知覚等の機序（メカニズム）およびその障害について概説できる。 2．人の認知・思考等の機序（メカニズム）およびその障害について概説できる。							◎								
23USWE1933	学習・言語心理学	1	人の行動が変化する過程、および言語の習得における機序について理解を深めることを目的とする。学習における主要なテーマである条件づけと記憶について学ぶとともに、人が言語を扱う能力や運用の仕組み、言語を習得する過程について学ぶ。	1．経験を通して人の行動が変化する過程を理解できる。 2．学習や記憶に関するさまざまな理論や仕組みを理解できる。 3．言語の習得における機序について概説できる。							◎								
23USWE1943	感情・人格心理学	1	人間の感情に関する理論やメカニズムを学ぶことを通して感情と行動の関係を理解することを目的とする。さらに、人格（パーソナリティ）の類型論や特性論等の諸理論を概観し、人格とは何か、人格がどのように形成され表出されるのかについて学ぶ。	1．感情に関する理論および感情喚起の機序（メカニズム）について概説できる。 2．感情が行動に及ぼす影響について概説できる。 3．人格（パーソナリティ）の概念および形成過程について概説できる。 4．パーソナリティについて行われてきた研究について理解できる。 5．パーソナリティの類型、特性について概説できる。							◎								
23USWE1953	神経・生理心理学	1	人間行動に関する生理学的基盤を理解することを目的とする。神経系の構造や機能、記憶や感情等の生理学的反応の仕組みを学ぶとともに、高次脳機能障害および発達障害にみられる神経心理症状を学ぶ。	1．脳神経系の構造および機能について概説できる。 2．記憶、感情、ストレス等の生理学的反応の機序（メカニズム）について概説できる。 3．高次脳機能の障害および必要な支援について概説できる。							◎								
23USWE1963	社会・集団・家族心理学	1	家族、集団および文化が個人に及ぼす影響について理解することを目的とする。人の態度および行動についてさまざまな理論を学ぶとともに、家族や家族の心理について理解する。これらをもとに、授業で得た知識を対人場面の問題解決へ適用することを目指す。	1．家族、集団および文化が個人に及ぼす影響について概説できる。 2．家族関係、対人関係ならびに集団における人の意識および行動についての心の過程を概説できる。 3．人の態度および行動についてさまざまな理論を用いて概説できる。 4．家族・集団・社会心理学の知識を対人場面の問題解決に適用することができる。								◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWE1973	発達心理学Ⅰ	1	生涯にわたる連続した発達について、心理学における基本的な理論を理解することを目的とする。発達心理学の基礎的な概念・用語、胎児期から高齢期までの発達の概要について学ぶ。	1．発達心理学の基礎的な概念・用語を理解し、胎児期から高齢期までの発達の概要をイメージできる。 2．認知機能の発達および感情・社会性の発達について概説できる。 3．自己と他者の関係の在り方と心理的発達について概説できる。 4．誕生から死に至るまでの生涯における発達および各発達段階での特長について概説できる。 5．多様な概念を整理し、互いを関連づけながら、日常の身近な現象と結びつけることができる。						◎									
23USWE2983	障害者・障害児心理学	2	各障害について定義（概念）を明確にし、それぞれの障害に特有の発達上の課題、社会生活上で生じてくるさまざまな問題を理解し、問題解決のための心理学的援助のあり方を理解することを目的とする。	1．身体障害、知的障害および精神障害について概説できる。 2．障害者、障害児の心理社会的課題および必要な支援について概説できる。									◎						
23USWE2993	心理学的支援法Ⅰ	2	力動論、行動・認知論、人間性心理学等に基づいた心理療法理論の基礎について理解することを目的とする。心理カウンセリングや心理療法といった心理学的支援の理論と技法について体系的に学び、実際の臨床現場で心理カウンセリングや心理療法といった心理学的支援がどのように行われているのかを理解する。	1．心理的支援を要するクライエントの心理学的問題を適切に理解できる。 2．代表的な心理療法ならびにカウンセリングの歴史、概念、意義および適応および限界について概説できる。 3．良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身につける。 4．心理に関する支援を要する者等のプライバシーに配慮できる。										◎					
23USWE1003	リスク心理学	1	我々が主観的にリスクをとらえる心理的プロセスを理解することを目的とする。我々がリスクをどのように認知し、その認知に基づきどのように対応することでより安全を確保しようとしているのかについて、心理学で扱われる話題を中心に事例を通して学ぶ。さらに、主観的に感じるリスクと実際のリスクの間に生じるズレにより生じる事象について理解を深める。	1．リスクとは何かを理解できる。 2．日常生活におけるリスクに気づくことができる。 3．リスク認知に関する心理的プロセスを理解できる。									◎						
23USWE1013	コミュニケーション論	1	多様なコミュニケーションのあり方について理解することを目的とする。コミュニケーションの基本概念を踏まえたうえで、言語的・非言語的コミュニケーション、対人コミュニケーション、マス・コミュニケーション、CMC、異文化間コミュニケーション等について学ぶ。	1．コミュニケーションの基本概念を理解できる。 2．言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの違いを理解できる。 3．多様なコミュニケーションのあり方を理解できる。				◎											
23USWE2023	グループダイナミクス	2	「社会・集団・家族心理学」の内容を発展させ、心理学における集団に関する諸理論について概観し、集団場面における人々の社会的行動や、個人が集団に及ぼす影響、集団間関係について理解することを目的とする。	1．心理学における集団に関する諸理論を理解できる。 2．集団場面における人々の社会的行動を理解できる。 3．個人が集団に及ぼす影響を理解できる。 4．集団間関係を理解できる。					◎										

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断					4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5
23USWE3033	消費者心理学	3	人々の消費行動における、意思決定に関わる社会心理学的メカニズムについて理解することを目的とする。マーケティングの基礎概念および購買行動についての考察を通して、多面的に消費行動を捉える能力を身につける。	1．マーケティングの基本的な考え方を理解できる。 2．消費者行動理解における心理学的観点からのアプローチの重要性を理解できる。 3．心理学に限らず、関連分野にも視野を広げ多面的に消費者行動をとらえようとする姿勢を持つことができる。							◎								
23USWE3043	マーケティング論	3	製品戦略、事業戦略、企業戦略へと拡大しているマーケティング活動に関する実践的なマネジメントのノウハウを身につけることを目的とする。マーケティング・コンセプトの歴史的発展過程を学んだのち、マーケティング戦略として、４Pを用いたマーケティング・ミックス戦略、ブランド戦略、価格戦略、広告戦略について、具体的事例を通じて学ぶ。	1．マーケティング・コンセプトの歴史的発展過程を概説できる。 2．主要なマーケティング戦略を概説できる。 3．マーケティング活動に関する実践的なマネジメントを理解できる。								◎							
23USWF3053	プレプロフェッショナル教育	3	近年の医・歯・薬学、工学・情報学の目覚しい発展により、各分野を融合した医工学研究領域が新たな学問として脚光を浴びている。しかし、医学を理解した工学・情報学系の人材、工学・情報学系を理解した医療従事者は乏しいのが現状である。本科目では専門色が強く、かつ実習を取り入れた講義を行い、医工学領域の即戦力として活躍するために必要な知識を得ることを目的とする。	1．専門科目では、臨床医工学・情報学の融合分野における最新の知見を学習し、各講義テーマと自らの専門分野・関心領域の知識とを結びつけて考えることができる。 2．共通科目においては理系（科学）英語の読み方・書き方および統計解析の考え方を学び、演習を通して研究をする上で必要となる基礎的なスキルを身につける。 3．実習では医療や福祉の現場を体感し、最新の機器等について理解を深めるとともに、講師とのディスカッションから研究倫理・職業観を養う。 4．本科目全体を通して、臨床医工学・情報学の融合分野への興味関心を喚起しながら自らが進む方向（分野）を考え、将来のキャリア形成の一助とすることができる。															